

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 5日 更新

事務事業名		合生文化会館運営審議会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	田中 政吉
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	宮本 拓摩
	施策の柱	44	人権教育啓発活動実践の推進			所属班	合生文化会館	(内線)	096-242-3218
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 10	事業連番	10892	根拠法令	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	昭和J58年の会館設置に伴い審議会を立ち上げた。合生文化会館の運営全般について審議を行う。合生文化会館が、その目的に沿ったよりよい運営や事業推進のための審議を行っている。 令和5年度より合生文化会館運営事業に統合。
【業務の流れ】	審議会委員の委嘱、審議会開催日時調整、審議会開催通知、審議会資料作成、報酬・費用弁償支払い事務、審議会会議録作成
【主な予算費目】	合生文化会館運営審議会委員報酬・費用弁償
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	6月17日に第1回の審議会を開催し、事業実績、計画について審議した。11月22日に第2回の審議会を人権ふれあいセンター運営審議会と合同研修会として開催した。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 審議会、研修会を各1回開催 令和5年度より合生文化会館運営事業に統合。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人 ア: 運営審議会委員 イ: 審議会開催回数	予算の主な増減の理由
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合生文化会館運営審議会	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 ア: 委員数 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	合生文化会館運営審議会の運営	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件 ア: 審議会で出される苦情の数 イ:
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	人	11	11	11	11	0	0	0	0
	回	1	1	2	2	0	0	0	0
② 対象指標	人	11	11	11	11	0	0	0	0
	件	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 成果指標	人								
	回								
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	47	47	96	71			
	(A) 事業費計	千円	47	47	96	71	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	30	30	60	45	0	0	0
	(A)のうち時間外、特例	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	0	0	1	1	0	0	0
延べ業務時間	時間	0	0	110	475	0	0	0	
(B) 人件費計	千円	0	0	438	1,807	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	47	47	534	1,878	0	0	0	

事務事業名	合生文化会館運営審議会運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	-----------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 第1回の審議会を開催し、事業実績、計画について審議した。第2回は人権ふれあいセンター運営審議会と合同研修会を実施した。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 審議会、研修を各1回予定しており、会館の運営や事業についての審議、及び研修を実施する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 より活発な意見交換、新事業の提言など会館の更なる向上を目指す。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 人権ふれあいセンター運営審議会、部落差別等をなくす人権を守る審議会と連携を行っていく必要がある。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の予算で行っており削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の職員で行っており削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 委員は市民から選出したものであり、事業としては公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市が組織した審議会であり役割分担は適正である

3 評価結果の総括 (CHECK)

審議会の開催によって事業計画等について協議を行い、今後の事業推進に引き続き反映させる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					